

【研究シーズテーマ】

通信効率を向上させるための プロトコル改善に関する研究

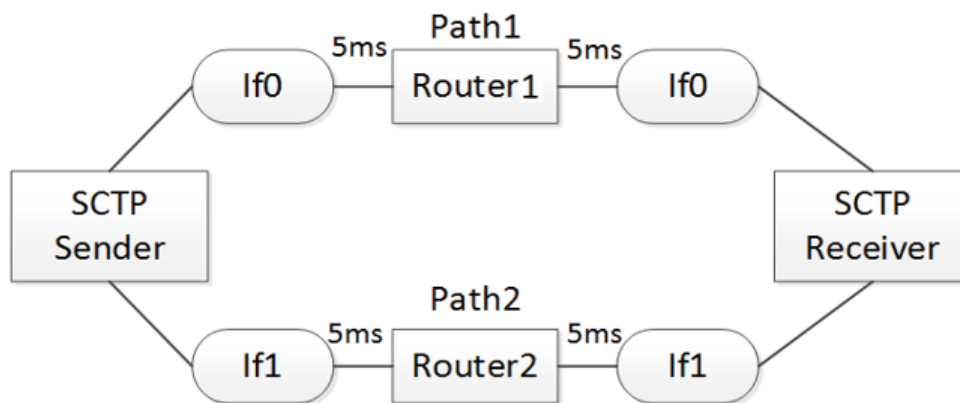
 情報学部 情報工学科 教授 **趙悦**


Keyword

通信プロトコル/SCTP/ハンドオーバ


【研究シーズの概要】

SCTPはマルチホーム機能を持つトランスポート層プロトコルです。マルチホーム環境でSCTPを利用する場合に、アソシエーション内で管理しているIPアドレスの中からデータの転送に使用するプライマリパスと呼ばれる通信経路を選出し、それ以外の通信経路をオルタネイティブパスと呼ばれるバックアップ用とします。本研究では輻輳が発生した時にプライマリパスをハンドオーバ(切替)するタイミングを制御することによって、データ伝送の効率向上を実現します。



【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- パケットロスとRTTの変化で輻輳を判断し、過度なcwnd調整による伝送速度の低下を回避
- 再送時に独自の基準で再送パスを選定することによって、全体のスループットの向上を実現
- 上記の手法の組み合わせによって、更なる伝送効率を追求

【産業界での展開・用途】

- 情報通信システムの開発への適用

連絡・問合せ先

 広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL:082-921-4222 FAX:082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp